

プログラム

昨年3月に発生した大地震から一年半になろうとしています。未だ、被災地では様々な課題と向かい合っていますが、少しずつ復興の槌音も聞こえてくるようになりました。そうした中、専修大学生田キャンパスを会場として行う平成24年度定期大会では、昨年につき自然災害と地図に関連するシンポジウムを新たな視点から行います。また、文科省初等中等教育局教科調査官の濱野清先生による新学習指導要領と地図に関連する特別講演、そして井口悦男先生には迅速測図をテーマとする特別講演を頂く予定です。多くの方々の参加をお待ちします。

会場へのアクセス

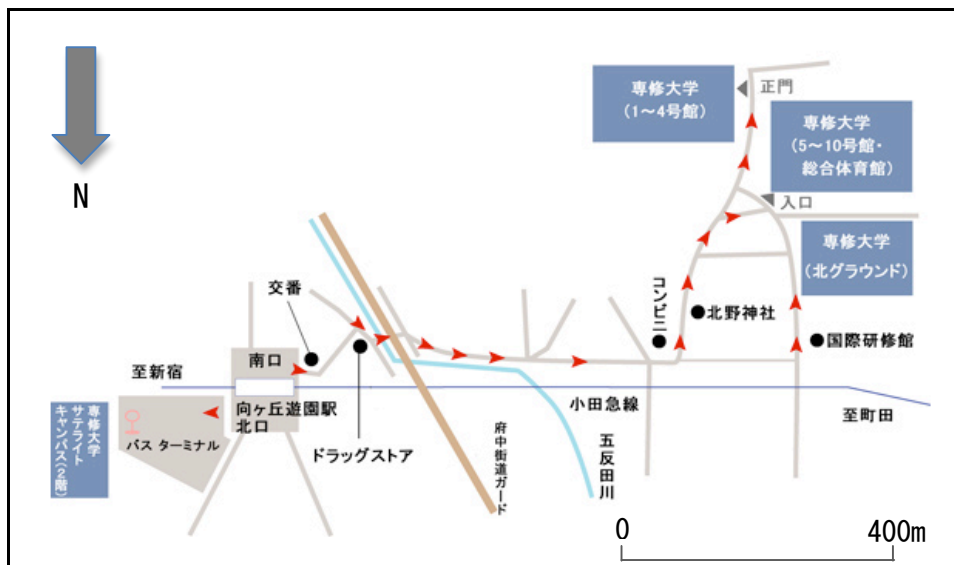
専修大学生田キャンパス 130年記念館（10号館2階） 10202教室
（神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1）

向ヶ丘遊園（小田急線）南口より徒歩14分（10号館入口）

《バスを使用する場合》

- ・向ヶ丘遊園（小田急線）北口より「専修大学前」行きバスで10分（終点下車）
- ・向ヶ丘遊園（小田急線）北口より「専修大学9号館」行きバスで10分（終点下車）

※専修大学ホームページ（<http://www.senshu-u.ac.jp/univguide/profile/access.html#ikuta>）も参照ください。



参加費

普通会員・特別会員団体構成員：1,000円

学生会員：500円 非会員：2,000円

※参加費には発表論文・資料集代も含まれます。定期大会に参加されず、発表論文・資料集の購入を希望する会員には、一冊700円（送料込）で頒布します。

※地図・図書展示のみの見学は無料です。

※懇親会費は4,000円（受付でお申し込み下さい）

事務局

〒153-8522 東京都目黒区青葉台4-9-6 財団法人日本地図センター内

日本国際地図学会事務局 電話:03-3485-5410 Fax:03-3485-5593

E-mail:gakkai@jmc.or.jp ホームページ:<http://www.jmc.or.jp/gakkai/>

第1日 8月23日(木) 10時～16時45分

時間	題目・氏名	掲載ページ
	《口頭発表1》10時～11時	
10:00	0-1 液状化現象1年後の浦安市の現状について—徒歩・目視による現地調査に基づいて— 伊藤 等 (日本大学・薬)	8
10:20	0-2 津波被災地域の土地利用変遷 栗栖晋二*・茅根 創 (東京大学大学院理学系研究科)	10
10:40	0-3 国の研修機関における測量及びGIS教育について 鎌田高造 (国土交通大学校)	12
	《ポスター紹介》11時～11時30分	
11:00	P-1 旧浦安地区はこんなところ—堀江水準標石について— 伊藤 等 (日本大学・薬)	30
	P-2 都市型開発パターンの時空間的特徴とハザードマップ 磯部邦昭* (アジア航測 (株))・杉村俊郎 (RESTEC)	32
	P-3 認知地図に基づく日本の大人の世界空間認知の分析 菊村紗巴子 (専修大学・卒業生)・熊木洋太* (専修大学)	34
	P-4 新潟県における歴史時代の液状化痕跡の分布の特徴 中埜貴元* (国土地理院)・酒井英男 (富山大学)・加藤 学 (新潟県埋蔵文化財調査事業団)	36
	P-5 東京首都圏における農地分布図の作成—「細密数値情報10mメッシュ土地利用(1994年首都圏版)」を利用して— 中村康子 (東京学芸大学)	38
	P-6 地理・地図教育のためのミウラ折りの手法 三浦公亮 (宇宙科学研究所)	40
11:30	《昼休み》11時30分～12時30分 評議員会 (11時40分～12時30分) 10214教室	
12:30	《ポスター発表コアタイム》12時30分～13時	
13:00	《特別講演1》13時～14時 地図学習のデザイン 濱野 清 (文部科学省初等中等教育局教科調査官)	
	《シンポジウム》「減災のための地図のあり方を考える」14時10分～16時40分	
14:10	Sy-1 趣旨説明「減災のための地図のあり方を考える」 遠藤宏之 (株式会社ネクストパブリッシング)	42
	Sy-2 「わかりやすいハザードマップ」が被害軽減に直結しない 牛山素行 (静岡大学防災総合センター)	44
	Sy-3 横浜における災害と地図に刻まれた被災記録 石黒 徹 (横浜市政策局政策支援センター)	46

	Sy-4 災害履歴の地図化とデータベース化による防災貢献への展望と課題ー防災科学技術研究所における災害履歴地図の作成の経験よりー 井口 隆（独立行政法人 防災科学技術研究所）	48
	Sy-5 「避難 地形 時間 地図」避難地図から縮退時代における都市の記述法へ 羽鳥達也（日建設計）	50
16:40	総合討論	
17:00	《懇親会》17時～19時頃	

地図・図書展示時間：10時15分～16時30分

第2日 8月24日（金）10時20分～15時30分

時間	題目・氏名	掲載ページ
	《口頭発表2》10時20分～11時	
10:20	0-4 航空レーザ測量データを用いた建物高図の作成 岡谷隆基（国土交通省国土地理院）	14
10:40	0-5 電子国土基本図の表現の再検討と刊行について 政春尋志*・木下 章・長谷川裕之・下山泰志・首藤隆夫・大野裕幸（国土地理院）	16
11:00	《口頭発表3》11時～12時	
	0-6 POI-based Inter-Georeference for Enabling Picture Route Maps in Location-based Mobile Services for Walking Tours Lu Min*・Arikawa Masatoshi・Tsuruoka Ken'ichi（Center for Spatial Information Science, The University of Tokyo）	18
11:20	0-7 GPSを使ったルート地図同期型オーディオツアーの有効性と限界 鶴岡謙一*・有川正俊・Lu Min（東京大学 空間情報科学研究センター）	20
11:40	0-8 感覚旅行時間地図の提案 太田守重（JAG 国際航業／武蔵野美術大学）	22
12:00	《昼休み》12時～13時	
	《口頭発表4》13時～14時	
13:00	0-9 江戸時代の越後三条町における絵図作成とその特徴 渡邊英明	24
13:20	0-10 GISを用いた明治地籍図の景観復原 稲松朋子（國學院大學・院）	26
13:40	0-11 フランス砲工学校の教科書：ルアーグルの『地形図学教程』と『兵要測量軌典』 細井將右	28
14:00	《休憩》《表彰式》14時～14時15分	

14:15	《特別講演 2》 14 時 15 分～15 時 15 分 正式測図成立以前地方駐在陸軍作成迅速測図群 井口悦男（帝京大学非常勤講師）	54
-------	--	----

地図・図書展示時間：10 時～15 時